

熊本城復旧の基本的な考え方について

平成28年熊本地震により甚大な被害を受けた震災復興の象徴である熊本城の復旧には、長い歳月と多額の費用を要することが見込まれる中、熊本市として1日も早い復旧を目指すため、以下の基本的な考え方・行動方針等に沿って、国・県等の関係機関との連携のもと、市民・県民をはじめ多くの皆様の力を結集し、100年先を見据えた復元整備への礎づくりとしての熊本城復旧に取り組む。

1. 基本的な考え方

- (1) 復興シンボルである天守閣の早期復旧を目指す
- (2) 文化財的価値を損なわない丁寧な復旧を進める
- (3) 復旧過程の段階的公開を行い、観光資源としての早期再生を図る
- (4) 耐震化など安全対策に向けて最新技術も取り入れた復旧手法の検討を行う
- (5) “100年先の礎づくり”として未来の復元整備へ繋がる復旧を目指す

2. 当面の熊本市としての行動方針

建造物の倒壊防止等の緊急対策事業や文化財的価値の損失を防ぐ石垣・重要文化財建造物等の部材の保全事業などに引き続き取り組みつつ、今後の復旧に向け、年内を目処に基本的な考え方を具体化した基本方針を定め、石垣・重要文化財建造物及び復元建造物の復旧手順や工法、復旧過程の公開等の施策について、平成29年度までに「熊本城復旧基本計画」を策定する。なお、着手可能な部分から復旧工事に早期着手する。

